

ADCのリンカー結合・抗体修飾技術と製造時の特許リスク対応

Live配信
または
アーカイブ配信

- 日 時:2025年7月8日(火) 13:00～16:30 ●聴講料:1名につき 49,500円(消費税込、資料付)
- 会 場:Zoomを使用したLive配信 ※Live配信から [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)]
7営業日後を目安にアーカイブ視聴が可能です。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 抗体とリンカー・薬物の結合技術

【13:00-14:45】

(株)ペプチド研究所 企画開発室 室長 吉矢 拓 氏

【講座趣旨】抗体薬物複合体(ADC)の構成要素と、特にそこに含まれるリンカーの特性について触れた後、これまでに承認された医薬品ADCについて、歴史的な流れで効果的なADC構造について考える。また、ADC設計のための代表的な抗体修飾法の概要について説明し、天然抗体の特定の残基を狙った部位特異的修飾法について、特にFc親和性リガンドを用いた修飾法について詳しく説明する。そのような修飾法においては、連結用の反応性官能基を組み込んだFc親和性リガンドがIgGのFc領域に接触した際に生じる「近接効果」によって、標的とするFc領域のアミノ酸残基と修飾試薬の連結用反応性官能基との間の特異的かつ効率的な共有結合修飾が可能となる。さらに、このアプローチは大きく2つに分類される。すなわち、Fc親和性リガンドが生成物の抗体コンジュゲート上に残存する残存型コンジュゲート反応と、コンジュゲーション反応の過程でリガンドが遊離し残存しない非残存型(トレースレス)コンジュゲート反応である。これらの修飾手法について、具体的な反応例とともに紹介する。

【講座内容】

1. 抗体薬物複合体(ADC)の概要
2. 承認されたADCに関して
3. リンカー技術に関して
 - ・切断可能リンカー
 - ・非切断可能リンカー
4. ADC結合のための技術
 - ・ランダムカップリングによる修飾
 - ・酵素を用いた糖鎖修飾法
 - ・Fc親和性リガンドを用いたリガンド残存型修飾法
 - ・Fc親和性リガンドを用いたリガンド非残存型修飾法

【質疑応答】

2. ADC製造におけるリンカー結合技術と特許リスク・対策

【15:00-16:30】 青山特許事務所 東京オフィス 顧問 弁理士 知的財産大学院協議会 会長 加藤 浩 氏

【講座趣旨】抗体薬物複合体(ADC)製造におけるリンカー結合技術について研究開発を推進するためには、特許戦略の構築が必要不可欠です。すなわち、研究開発のそれぞれの段階に対応して、どのような特許を取得し、どのように活用するかが重要な課題です。とくに、広くて強い特許を取得することが有効であり、その結果、研究成果を事業活動に最大限に活かすことができます。また、特許リスク・対策を踏まえた知財戦略の構築の必要性についても高まっています。

本講演では、このような視点から、S抗体薬物複合体(ADC)製造におけるリンカー結合技術に関する技術動向と特許戦略について説明し、今後の課題と対応策について解説します。

【講座内容】

1. 抗体薬物複合体(ADC)に関する特許出願の動向
2. 抗体薬物複合体(ADC)とリンカー構造に関する要素技術の特許分析
 - ・抗体と薬物の組み合わせに特徴のある発明
 - ・リンカー構造に特徴のある発明
 - ・DAR(薬物抗体価)の最適化に関する発明
 - ・コンジュゲーション技術に特徴のある発明
 - ・量産化・精製技術など
3. ADC製造におけるリンカー結合技術の特許分析
 - ・リンカーによるDAR(薬物抗体比率)の最適化
 - ・リンカーの選択と有用性
4. ADC製造におけるリンカー結合技術に関する研究開発と特許出願の課題
5. ADC製造におけるリンカー結合技術に関する特許実務の課題
6. 抗体薬物複合体(ADC)に関する特許の活用方法
7. 抗体薬物複合体(ADC)に関する登録特許の最新事例
 - ・進歩性や開示要件は、どの程度、要求されるのか
 - ・諸外国の登録特許の事例との比較(米国、欧州、中国など)
 - ・事例を踏まえた最適な明細書・クレームの提案

【質疑応答】

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

「ADC」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

- ☐ Live配信 (No.507112) 開催日:7/8
- ☐ アーカイブ配信 (No.507164) 配信期間:7/17～7/27

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745